



1 俣野別邸庭園
和洋折衷住宅（昭和 14 年築）を中心とする公園です。建物は国の重要文化財でしたが、火災で焼失した後、再建されました。現在は建物（市認定歴史的建造物）のほか、内苑と外苑に分かれており、自然景観を楽しむことができる公園となっています。

2 五叉路の石仏群
藤沢バイパス出口交差点の付近の五叉路にある、江戸時代から幕末にかけて造立された石仏群です。庚申塔、地藏像、地神塔、木食観正碑があります。

3 八坂神社
江戸中期に創建され、明治初期に村社になりました。鳥居の横には庚申塔、地神塔、道路改修記念碑が、社殿の横には、他から移された庚申塔、双体道祖神などが置かれています。

4 観音堂
源頼朝が石橋山に兵を挙げたとき、平家方の大庭景親に従って出陣した弟の俣野五郎景久の守護仏とされ、奇跡的に命をとり留めました。後に旧額を取り戻され、観音堂は尼となって余生を過ごしました。



鹿鹿毛と照手姫の伝説
ウイトリッヒの森裏あたりの鬼鹿毛山には、かつて荒馬の鬼鹿毛がいました。室町中期頃、小栗城（茨城県）の城主小栗満重が、足利持氏に攻め落とされ逃げの途中、盗賊に命を狙われ、鬼鹿毛を乗りこなし危難を逃れました。しかし毒を盛られ命を落としかけたところ、彼を哀れんだ照手姫に救われ、奇跡的に命をとり留めました。後に旧額を取り戻され、照手姫は尼となって余生を過ごしました。



5 俣野の三叉路の道標
天王森泉公園付近の三叉路に庚申塔 5 基（安永 5(1776) 年、弘化 3(1846) 年、昭和 43 年、年代不詳の 2 基）があります。中央の道祖神塔は道標を兼ねて、「至 長後厚木」、左側に「至 藤沢 戸塚」と書かれています。

6 天王森泉公園
里山風景と地域がかつて盛んだった西洋式製茶工場の歴史を伝える公園です。豊かな湧水帯の生息地、ワサビ田、清水製茶場跡が保全されています。この地域には、複数の製茶工場が明治期に設立され、地域経済に大きく貢献しました。

7 吉田道（かまくら道）
吉田道は、大橋を起点に、栄区の笠間へと続く道で鎌倉道の一部を成しています。広重の東海道五十三次の浮世絵に描かれた道標には「左りかまくら道」と書かれており、江戸期には鎌倉へと続く主要な道となっていたことがうかがわれます。

8 南谷戸大わらじ
南谷戸では、昔から地域や旅人の無事を祈ってわらじを奉納する習わしがあります。これらは古くから山岳信仰の対象とされ、多くの参拝者が訪れる霊山です。出羽三山碑は、これら聖地への参詣の証として造立された碑です。



9 出羽三山碑
出羽三山とは、山形県庄内地方の月山、羽黒山、湯殿山の三つの山から成り立っています。これらは古くから山岳信仰の対象とされ、多くの参拝者が訪れる霊山です。出羽三山碑は、これら聖地への参詣の証として造立された碑です。

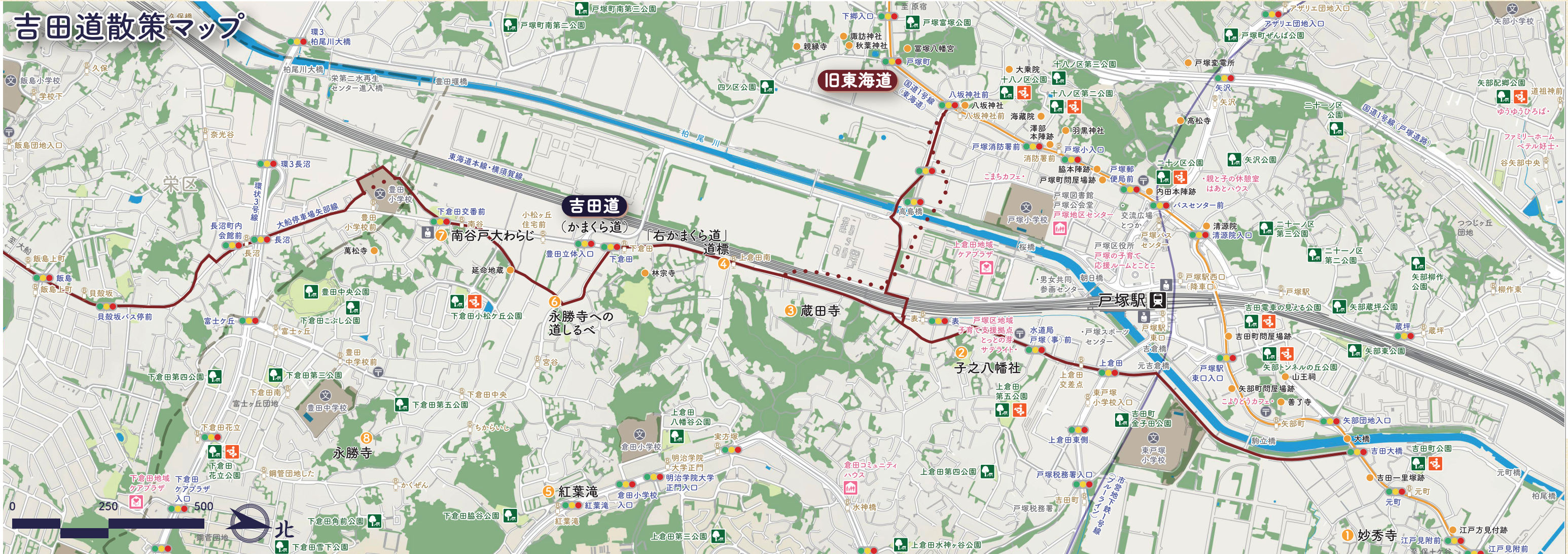
10 「右かまくら道」道標
江戸時代に建てられた道標です。正面には出羽三山である「月山・湯殿山・羽黒山、右かまくら道」、左面には「左むらみち」と刻まれています。

11 蔵田寺
戦国時代に創建された浄土宗の寺院で、戸塚宿で活躍した伊勢屋一族や鈴木家などの墓地があります。本尊は阿弥陀如来像で、境内には舟形庚申塔として市内最古の庚申塔（1656 年造立）など多数の石仏が残っています。

12 鎌倉道道標
八坂神社前交差点付近、妙秀寺境内、子之八幡社付近、等々…戸塚区内を探すと様々な場所に鎌倉道の道標が見つかります。出羽三山碑や庚申塔を兼ねた碑には、「かまくらみち」、「左りかまくら道」などと案内が刻まれています。道標には造立された和暦（干支や年号）が刻まれているため、江戸時代の道標が多くあることが分かります。



東海道五拾三次之内 戸塚 元町別道（横浜市中央図書館所蔵）
大橋のたもとに描かれた道標には「左りかまくら道」と刻まれています。この道標は現在の妙秀寺境内にある道標であるといわれています。



影取池と鉄砲宿伝説
昔、遊行寺近くに住む森家は「おはん」と名付けた大蛇を飼っていました。しかし、その大蛇は食欲旺盛で、森家は蛇を池に捨て、しかたなく大蛇は旅人の影を捕らえて生き延びていました。困った村人たちは、大蛇を退治するために鉄砲撃ちに頼みました。彼らは「おはん」と呼び、大蛇が姿を現したところを撃ちました。こうして池のあった場所は「影取池」、鉄砲を撃った所は「鉄砲宿」と呼ばれるようになりました。

4 龍長院
室町後期に創建され、江戸前期に東俣野村領主により再建され、龍長院と名付けられました。本尊は釈迦牟尼仏で、地藏堂には延命地藏尊が安置されています。国道 1 号線側の龍長院入口には不動明王が祀られています。

5 ウイトリッヒの森
スイス人のアーノルド・ウイトリッヒが故郷の風景に似ていることから大切にしていた森です。ウイトリッヒが亡くなった後、横浜市に寄贈され、貴重な植物、野鳥、昆虫が棲む市民の森として公開されるようになりました。

6 福泉寺
曹洞宗の寺院で、江戸初期に再興されました。相模国には同名の寺院が複数あり、北に位置するこの寺院は「北谷山福泉寺」と呼ばれました。山門扁額の阿吽の竜は寺の守護とされ、珍しい彫刻となっています。

8 俣野神社
6 世紀後半欽明天皇の時代に創建され、もとは欽明天王社と呼ばれていました。明治初期に村社となり、その後俣野神社と改称されました。社殿は昭和 52(1977) 年に改築されています。

「ドリーム」の名が残る地域
俣野町には、東京オリンピックのあった 1964 年に開園した遊園地「横浜ドリームランド」がありました。超高層ホテル「エンバイア」を含む日本屈指のレジャー施設で、一部敷地に住宅団地「ドリームハイ」が建設されるなど、「ドリーム」の名は地域に根付きました。住民に愛された遊園地でしたが 2002 年に閉園し、現在敷地は俣野公園、墓地、横浜薬科大学のキャンパスになり、エンバイアは大学の図書館棟として再利用されています。

凡例

- 鎌倉道散策ルート
- 元の鎌倉道（現在通行不可）
- 歴史スポット
- 市界・区界
- カブラザ
- 地区センター・コミュニティハウス
- 交番
- 郵便局
- 駅
- バス停
- 公園
- 小学校・中学校
- 公園
- オアシス・スポーツ施設等
- 樹林地帯
- 河川・水面

8 永勝寺
鎌倉中期創建の寺院（浄土真宗）です。甲斐の武田氏と縁が深く、北条氏による圧迫を避け、寺名は永勝寺に改められました。寺には本尊の阿弥陀如来や聖徳太子像（県重要文化財）、めんかけ如来が安置されています。

6 永勝寺への道しるべ
天明 8(1788) 年造立の道標です。正面「頼朝上人旧跡面懸阿弥陀如来江の道」、右面「かさこい太子・めんかけ如来道、右かまくら」、左面「相州鎌倉郡倉田、是より二町半、龍臥山永勝寺 かまくら行けぬ」と書かれています。

5 紅葉滝
戸塚三滝の一つ、かつて豊かな自然に恵まれた美しい滝でした。御嶽講信仰の霊場・修練場だったとも言われています。今は宅地になっていますが、元の場所の近くに滝が再現されています。隣には不動明王を祀る祠があり、秋には美しい紅葉も見られます。

2 子之八幡社
1915 年に地域の八幡宮と子之神社が合祀された神社です。二つの神社が一つになっているため大國主命と応神天皇を祭神としています。境内には様々な時代の庚申塔や地神塔、道祖神碑が並びます。

1 妙秀寺とかまくらみち道標
室町初期に創建された寺院である妙秀寺の境内には江戸前期に造立された「かまくらみち」の道標があります。この道標は浮世絵に象徴する広重の大橋の浮世絵にも描かれ、妙秀寺境内に移設されたものとされています。

開かずの踏切とワンマン道路
1955 年に開通した戸塚道路は国道 1 号線のバイパスです。建設の背景には、当時の首相・吉田茂が自宅と東京の移動時に通過する開かずの踏切「戸塚大踏切」の渋滞を解消したいという動機がありました。そんな逸話から、自らの意向を押し通す吉田のニックネーム「ワンマン宰相」になちなり戸塚道路は「ワンマン道路」や「吉田道路」と呼ばれました。後にアンダーパス「つつが地下道」の完成により踏切は廃止され、渋滞も解消されました。